



「私たち(市民)が動いて選んで決めて！」  
そんな期待と希望で盛り上がった先般の滋賀県知事選。子どもの未来を想って行動に出たお母ちゃん達が、もっと市民が政治に興味をもっと参加しよう！と「くらしとせいじカフェ」を立ち上げた。ブログを開設し、県内各所でお茶会を開催し、手づくりのぼりを持って「選挙に行こう！チラシ」を配った。政治ってむづかしいし、わからないでも、行動すると面白くなってきたよ。選挙は終わったけど、これで終わりじゃない。私たちの暮らしのこと、みんなで考えていこう！  
九月のある日、八日市の「ぐるりとせいじカフェ」にて開催した「くらしとせいじカフェ」の様子をお届けします。

### ●選挙を振り返って

まだか／楽しかった。ものすごい楽しい選挙だった。見るだけじゃなくて、人に呼びかけて、みんなで集まって、選挙結果を見るのをワクワクしたりとか。投票率も「五十%いったー！」って。雨やったのにー。

みか／動くことこんなに面白いもんなんと。自分が動くなんてことは今まで全然なかったから。分かんないからって言うのはあつたけど、分かんないのと選挙に行くのとは全然違うと思ってやってみたらすごい面白い流れが。でも、もっと早く動けばよかった。あとから、あれも出来た、これも出来たやんとか。だから次も楽しみ(笑)

みき／自分が動いて伝えるなんて：思ってただけで、出会う人に話をしてみるというんなお話ができた。動いてみてすごくよかった。

かずこ／八日市のみんなは動きがすごく速かった。みか／あの日、午前中に「くらしとせいじカフェ」があつて話をきいて、午後にはみんなで集まって、「選挙に行こう！」のチラシ撒きの段取り相談して：すごい速さだった。でもそもそも「くらしとせいじカフェ」当日に集まった数にびっくり。やるって決めてからそんなに時間もなかったし、取りあえず知ってる人に声かけて、ま十人くらい来てたらしいかなくらいだったのに、実際は三十人以上この部屋が満杯になって。それで集まることで盛り上がるのを再確認。フェイスブックとか自分からとりにいかななくても入ってくる情報も大きいと思つた。

あいこ／みんなで地元の子育てサロンでしゃべろうか行ってたんやけど、たまたまそのとき台風が来て他のお母さんが誰もいなくて(笑)。次はもうちょっと自分でも調べて、地元の人とも喋りたいな。政治には興味を持って人が多いいです。込み入った話も出来るようにもうちょっと時間の共有が出来たらよかったな。

ひよ／わたしは選挙でこんなに涙をしたのは初めて。感動。県外の友だちからも「滋賀よかったね」って連絡がきてた(笑)

# くらしとせいじカフェ



### ●保育園・幼稚園のチラシまき

みか／わが子が通う保育園で「選挙に行こう！」チラシを配らせてもらったのが嬉しかった。雨の日だったから、中でやって下さいって言うてくれた。玄関でお茶も出してきて。先生の方から「こういう事をしてきてあげたい」と。それを四日間やって、結構お父さんのお迎えが多くて。お父さんたちがチラシを見て「今回はこれしかないやろ」とか話したり、ひとりのお父さんが「政治は子どもの未来のためにあるんやからな」といい事言わはつたり。その時間自体が、チラシ配りしてなかったら絶対あり得なかつたし、友達じゃない人と、ましてや保護者どうして、ましてや支している人が違う状態で、門の前で立ち話っていう事が面白くて感激した。他のお母さんとも仲良くなつて、その後スーパの前でチラシ配る時にも来たいて言ってくれて、何人か来てくれた。友だちのおつれあいさんでアメリカの方がいてはつて、選挙権がないのに「選挙へ行こう！」と声を上げてチラシまいてくれて。「選挙権はないけど選挙をした気持ちになつたよ、ありがと」と言ってくれた。自分が動く事で、いろんな反応を実感できて余計やる気になれて、感激でした。

みき／公立の幼稚園で配つてたんですけど、お母さんの中には「自分ももうずうずうしてどうしていいのかわかんないけど、こうして声を挙げて行動してくれてありがと」と言ってくれた人もいて。

みか／保育園で配る時に「選挙、行きますか？」って聞きながら配つてみた。反応が面白いかなと思つて。そしたら「行きました」とか「あ、もちろん行きます」とかもあるんですけど、結構「行きますせん」があつて。まあ忙しいそうなのもあってるんだけど：あ、この状況で「行きますせん」って言えちゃうんだなと思つた。若いお母さん。「今回は是非！」言うといたけど(笑)。選挙じゃないときにもすることもあるんかなって感じた。

●家族の反応  
まきお／私は活動で夜も出かけるし。(夫が)帰つてきて良かったわーと子どもを預けて。夫は夫で職場の組合があつて、講演会の動員があつたりチラシを配つたりとか。でも今回、特定の候補者を進めると言うよりも、自分たちでやる政治をなんとかして手に入れようっていうのが私たちの中にあつたから、私はそれを彼には言つてたし、彼もそう思つたみたいで、お互い快く動けた。かづこ／動員されるお父さんたちは意に反する人たちに投票するのかな？

まきお／投票行動としてはいるいるんだらうね。かづこ／意に反する人の選挙を応援したりしてしんどいよ。まきお／でも、しんどく感じる人は多くないのか

も。あまり考えてないけど仕事の流れで動員されて、あまり考えてないけどあの人の名前をよく聞いてたから入れるみたいなのが多いのかな。それが組織票なのかと。  
ひよ／ななちゃんも子どもたちからも、なんか言われたって言つてなかった？  
ななつ／あー。いろいろ動いてる時、散髪行きたいつて長男が言うから、「こないだ行つたばかりやん！」って言つたら、「もう一ヶ月も前ですけど」って。「一時が経つのは早いなあ」「そりやーななつさんが毎日楽しいからでしょ」って(笑)  
楽しかったです、ホンマ。

今回の知事選挙では、政治と暮らしっていうものを、自分のこととして考えて行動していく第一歩を踏ませてもらったなという感じ。だから今、もう次の二歩目をどう踏んだらいいか考えなあかんやと。長男を夜のカフェで開催された選挙のこと考える集まりに連れて行つたこととか、「うちの子がのぼり持ちたい！って言うから(街頭に)来たわ」という友人がいたり、そういうのって子どもにも、いろんなカタチで伝わると思う。あれは面倒だった、暑かつたとか、お母ちゃん楽しんでるなとか、そんなも全部。

とも／私は、何もなければ坪田さんに入れてたんやけど、みんなの動きがおもしろくて、そこに対する期待があつて変わりました。それで、なかなか活動に参加できないぶん、せめて夫だけで説得しようと思つて(笑)。いろいろ話をしていくと、夫も自分から三者の政策集を入手して読みこみ始めたついで、最終的に彼も変わつてくれた。これまで夫婦の間で、お互いが考えていることに踏み込んで話すこともなかったんだけど、今回をきっかけにそれができたのが良かった。政治を動かす、社会を動かすっていうのは、こういう小さい一人ひとりの変化がたくさん起こること、結果として変わることなのかなと思つた。

かづこ／よしみさんのおつれあいさんは？  
よしみ／うちのつれあいは、若い頃チエルノブイリ原発の事故があつて、めっちゃ反対運動してたんです。今私たちがやつてることを、だいぶ先駆けてやつてて、で、やりつくして疲れ果てたんで(笑)。自分ももうこんな活動する元気はないけど、職場の人に「どうします？」とか聞いたり、新聞記事を切り抜いてそと置いてくれたりして、縁の下から支えてくれてました。一昔前よりも、次に続く活動になつてるんちゃうか？

かづこ／じゃあ世界は良くなつてるとはもう原発があつたじゃないですか。でも私は三・一一があつて初めているんなことに気付いて、「どうしてこんななる前に原発に反対してくれなかつたん？」って実家に電話してしまいました。「自分たちのせいじゃないのに自分たちにつけが回つてきてる」ように怒りを覚えたんです。でも直接原

発を建てたり賛成したわけじゃなくてもこれまで気づかなかつた自分にも責任があるという気があつて。三宅洋平や山本太郎のような人が出てきて若い人に新しい動きがある一方で、昔から原発運動をしてる人たちや年上の層との間に世代間ギャップを感じて。そこをもっとミックスできないかなつて以前から思つた。今回告示前から選挙事務所に行つてたんですけど、選挙を通していろんな世代の人や地域の人との繋がりができた。一緒にごはん食べたり顔を合わせる中でも信頼関係が生まれて、事務所の方の話を聞いたり意見を求められたりして。

### ●未来を見据えて

ささる／選挙って自己主張の場じゃなくって、みんなとどんな社会をつくるかを議論する場なんやつて意識が変わつたつて人が増えたのが良かったなあ。今日みんなに聞きたいなつて思つた事は、今後のこと。選挙前から考えたことか三つあつて。ひとつはメディア。マスコミでは伝わりきれない事がどんなふうにも広げられるかってこと。次に意識を持った人が政治に参加出来る機会をどう作るか。そして、どう政策を立案して形にできるか。今回の選挙にあつた「ノリ」をどうしたら維持できるかなつて。

ななつ／高島でやつた「くらしとせいじカフェ」に来てくれた人が、「あれはすごいよかった。私は高島でいろいろんことを喋れる友達があんまりいなかったけど、あのときにいろいろんな気持ちが出たし、いまもあふれ続けていてどうしたらいいかわかんないんや」と。って。「くらしとせいじカフェ」で蒔いた種は、一人の人の心にもちゃんと届いてる。「気持ちがあふれてる！」ってすごくすばらしいなつて。そういう気持ちを持つてる人はいつもどこかにいて、そんな人と出会うために、小さくてもいいからそんな機会を作れたら。

よしみ／そのときに来てくれた別の友達には「揺れる気持ちをありがと」と。あつて、あつて、別の候補者に入れると決めてた人が、みんなの話を聞いて、モヤモヤとされてしまつたつて。未来を楽しそうに語る私たちを見て、決めてた気持ちググググ揺れて、もーなんでなん！みたいに腹が立つたりして。私は最初、コロッと変えたる！くらいの気持ちで臨んだけど、モヤをつくる位でもいいんやつて思つた。

かづこ／やっぱ「くらしとせいじカフェ」はいいキーだよな。  
よしみ／野洲でやつたときは議員さんがいっぱい来てくれた。せっかくなつて議員さんとも親しくなつたから、今後テーマ決めて、子育てについてやつたら文教委員の市議さん呼んで話聞くとか、議会に議案あげたい時にどうするかとかを請願書たてた経験ある人呼んで話聞くとかできる

いいかも。  
ひよ／告示前に候補者さんのお茶会をいっぱいしたやんか。私、あの印象がすごい良かった。みんなの話をすごい真剣に聞いてメモつてた候補者さんの姿が印象的やったんやけど、今ってどうなんやろ。うちの声って届きやすいもんなん？時々声を届ける会があつたらいいのになつて。滋賀の人言いたい事があつたら話に行けるところがあつたら素敵じゃない？

みか／一番選挙が影響する一般の若い世代で、選挙については特に考えない、行かへん、なんとなつていう層に、今回たくさん出会つた。自分の周りも選挙に行くのは当然の人が多いいし、そうでもないところへのアプローチをすごい考えたし、これらからもそんなアプローチをせなあかんのかなつていうのが一番思つた事。「くらしとせいじカフェ」もまたやつてほしいという声もあつて、そう思う人達で盛り上げてくれることも大事。同時にそうじゃないところへどう届けていくのか考えることも大事。そこに届けられるのは「お母さん」やなと思つた。私は仕事も趣味の世界で生きてきたけど、お母さんになつて、今までまわりになつた人と出会つたり、仲良しだけじゃない人とのつながりができて。「お母さん」てオールジャンル。「お母さん」ができることでオモロいことがあるんちゃうかなつて思つてるところです。

まどか／すごくちっちゃいことでも、何か変わった！っていうことができたなら、わっ！ってなりそう。私は学校給食をすごく変えたいって思つていろいろやけど、例えばみんなまでそれを変えたんだよっていうのが目に見えてわかつたら、もっとあれも出来るこれも出来るつてなる。三日目の日にみんなで集まって、びわ湖の周りのいろいろんなことで、集まってやりたい事を相談してつなげて動き出したよっていうのを体験してあげたら。そして、デザインもイケテル感じを出して。

かづこ／三日目カフェいいねー。  
ななつ／選挙期間中、県外の人にもっとアピールできたつて思つた。メディアがもっと取り上げてくれたらいいのになつて。これから福島や沖縄の知事選が控えている。日本中の人が興味を持って見ていかんよ。  
まきお／こういうことは市民が動かないと盛り上がる。福島や沖縄のお母ちゃんたちがやつてくれたらいいな、と思つた。

